

がん年報 2021年

独立行政法人 国立病院機構
大分医療センター



Oita Medical Center

基本理念

「愛の心・手」で
病める人々に寄りそう医療

巻 頭 言

大分医療センター

院長 奈須 伸吉



この度、大分医療センターがん年報 2021 年が完成いたしましたので、皆様のお手元にお届けいたします。

2020 年の当院は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）院内クラスターが 2 度生じました。そのためがん患者の受け入れが不十分な期間が長く、また地域住民の受診・検診控えも加わり、院内がん登録件数の大幅な減少が見られました。これに対して 2021 年の院内がん登録件数は 2020 年より増加していますが、まだコロナパンデミック前の 2019 年までのレベルには達していません。伸び悩みの原因は、当院は COVID-19 患者受け入れ病院を継続しており、病棟に COVID-19 専用病床を設置しているため、一般入院病床数がその分だけ減少していることと、地域住民の受診・検診控えがパンデミック前のレベルに回復していないためと考えられます。

がん種別に見ますと、特筆すべきは肺がんの初回診断・治療件数が 2019 年より増加していることですが、胃がん、大腸がん、前立腺がんも 2020 年より増加しています。その他の臓器のがんについては、膀胱がん、膵臓がん、子宮頸部がんの増加が見られました。また、各がん種の治療では、胃がん内視鏡治療件数、肺がんの化学療法件数が増加しています。一方で、前立腺がんの治療件数は激減しています。

部門別の活動については、まず、放射線治療は 2020 年よりも増加しています。当院は大分県東部地区で唯一放射線治療を施行できる病院なので、今後さらに件数を増やしたいと思っています。また、外来化学療法の件数や緩和ケアチーム介入件数も増加しています。

まだ COVID-19 パンデミック終息の時期はわかりませんが、今後、当院はさらに多くのがん（疑い）患者に対応できるように、院内のがん診療体制を強化してゆきたいと思っています。

令和 4 年 5 月

目次

1. 2021 年がん治療実績 (主要5大がん + 前立腺がんの治療 (2021 年 1 月～ 12 月実績))	
胃がん治療	1
大腸がん治療	2
肝がん治療	3
肺がん治療	4
乳がん治療	5
前立腺がん治療	6
2. 院内がん登録 2021 年症例報告	
①院内がん登録 登録件数	7
②部位別件数	8
③年齢階層別件数	8
④性別件数	9
⑤主要 5 部位 + 前立腺 治療前ステージ別件数	9
3. 部門別活動報告	
①放射線治療部門	10
②化学療法センター	12
③がん化学療法薬剤部	13
④緩和ケアチーム活動	14
⑤がん患者リハビリテーション	16
⑥がん相談支援センター、がんサロン、がん川柳	17
4. 当院で治療を行っているがんの種類	18
5. がん関連資格取得者 (2021 年 12 月現在)	19
6. がん関連発表	22

1

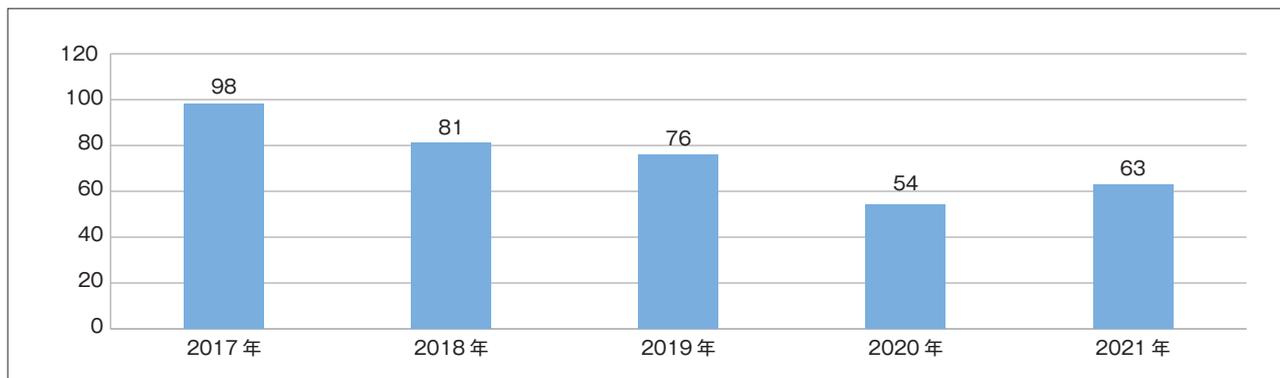
2021年がん治療実績

(主要5大がん + 前立腺がんの治療 (2021年1月~12月実績))

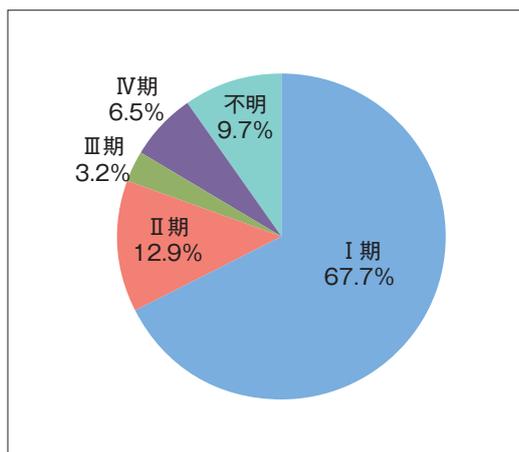


胃がん治療

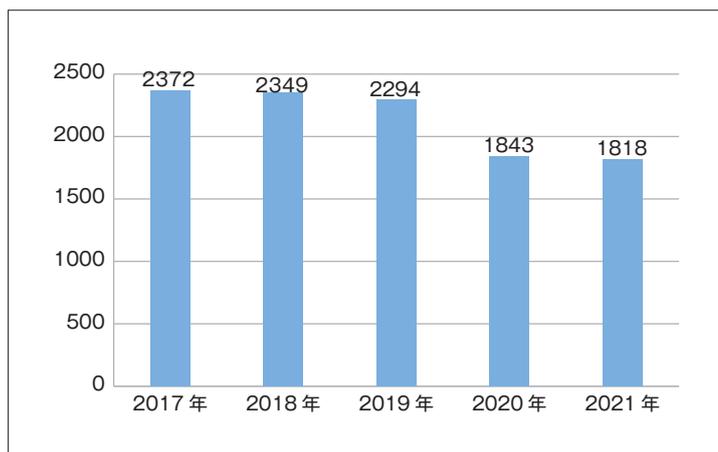
① 初回診断・治療件数



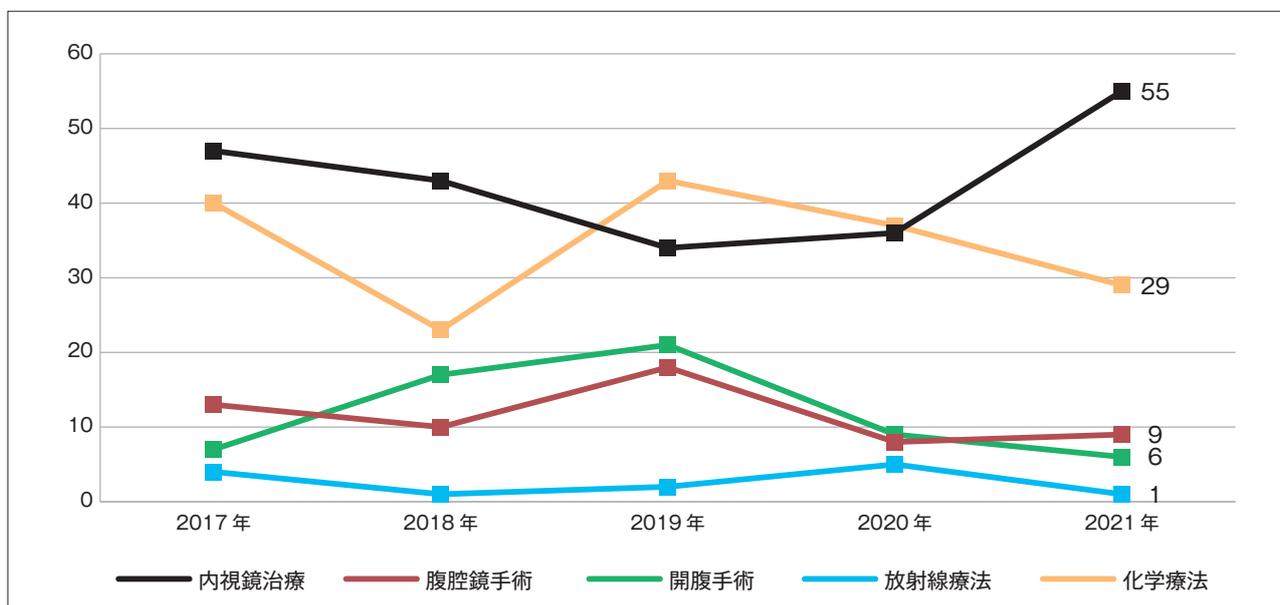
② 2021年症例治療前ステージ別割合



③ 胃内視鏡検査件数

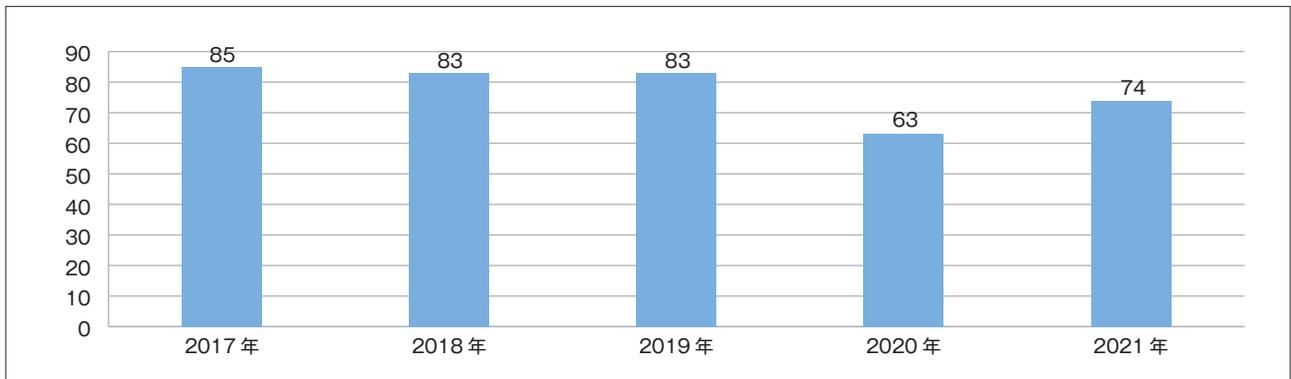


④ 治療件数 (重複含む)

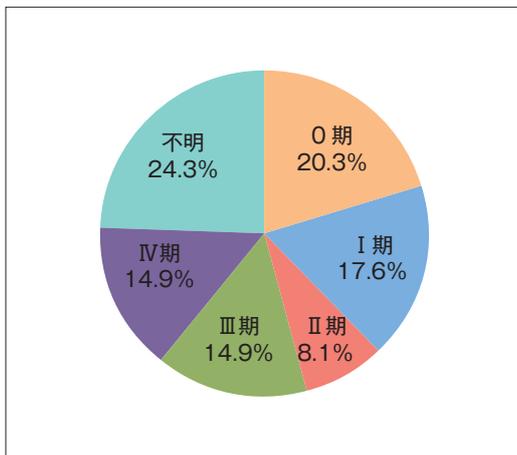


大腸がん治療

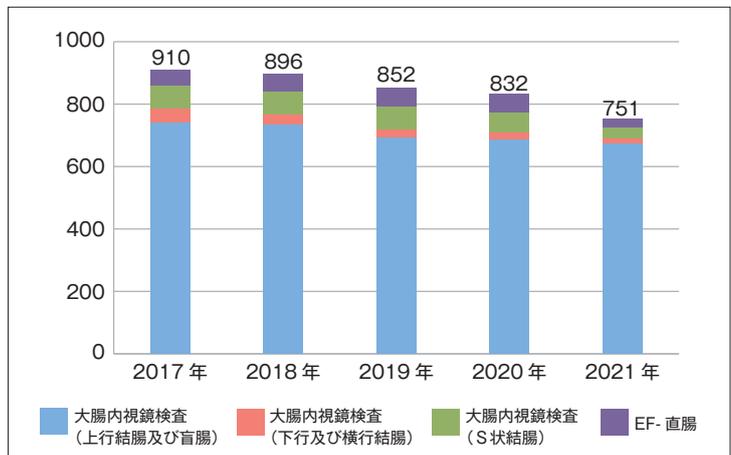
① 初回診断・治療件数



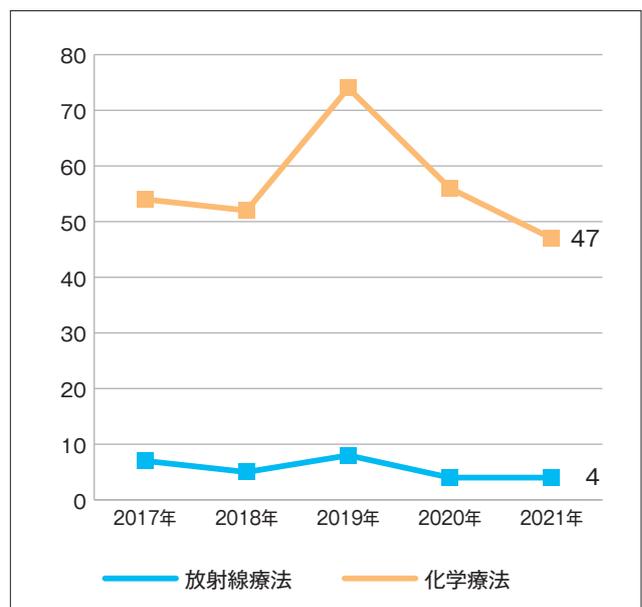
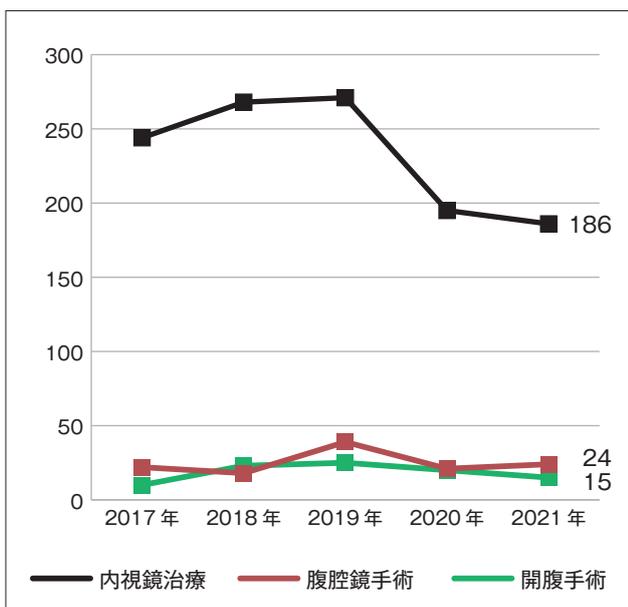
② 2021年症例治療前ステージ別割合



③ 大腸内視鏡検査件数

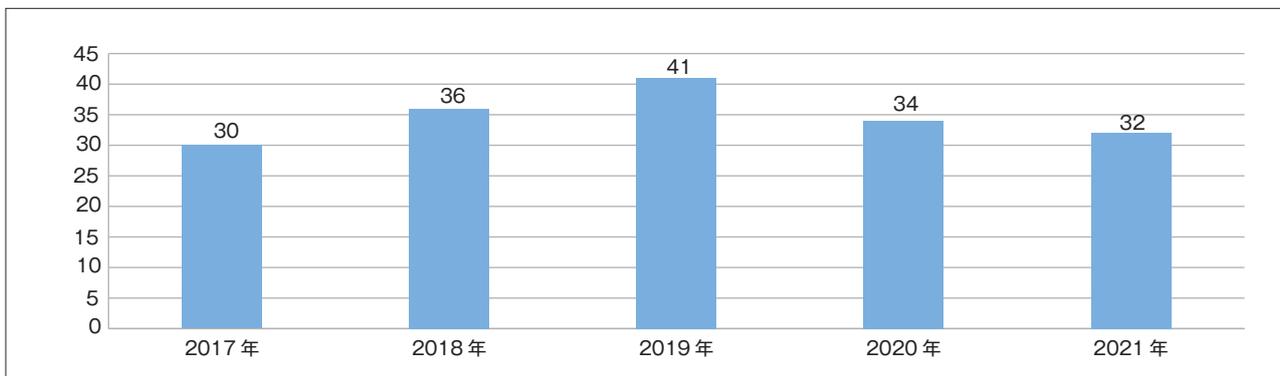


④ 治療件数 (重複含む)

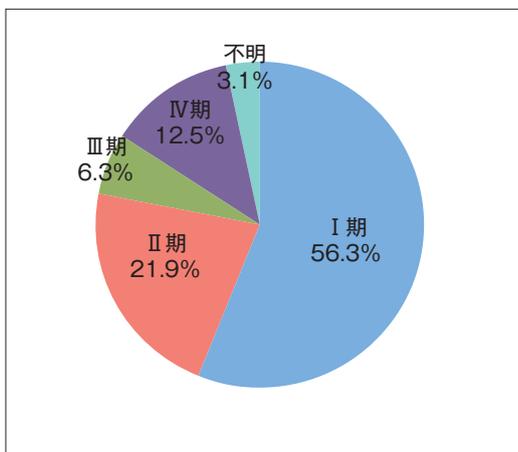


肝臓がん治療

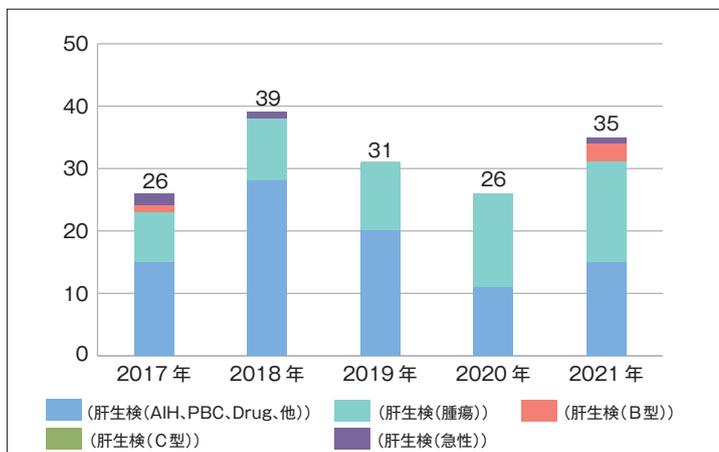
① 初回診断・治療件数



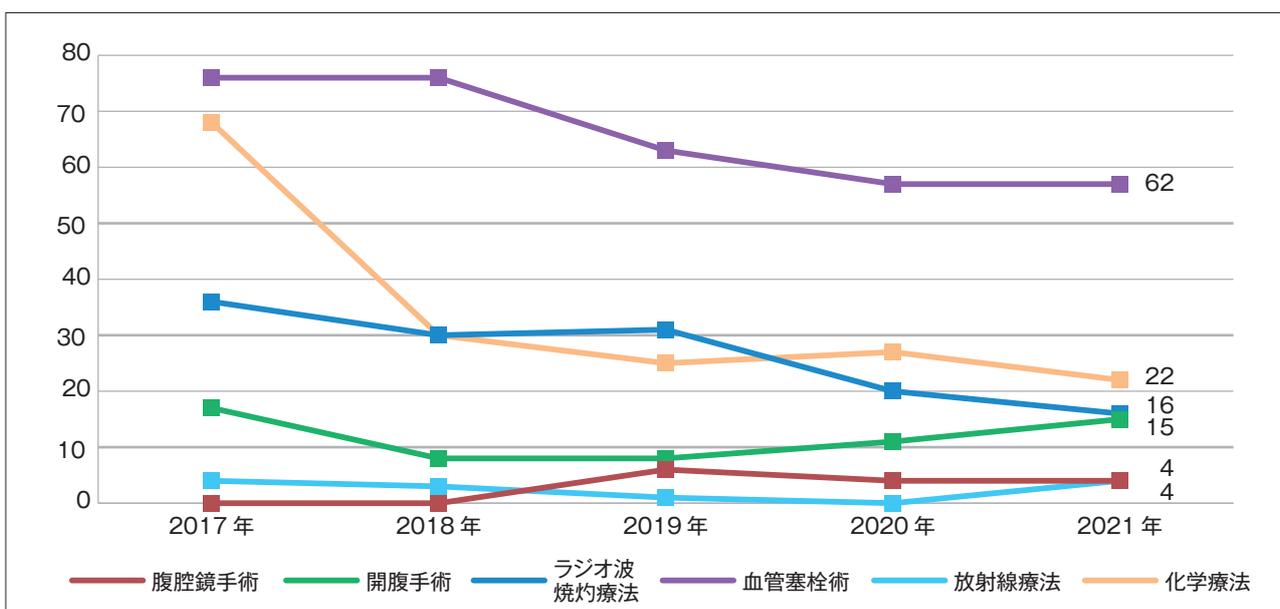
② 2021年症例治療前ステージ別割合



③ 肝生検件数

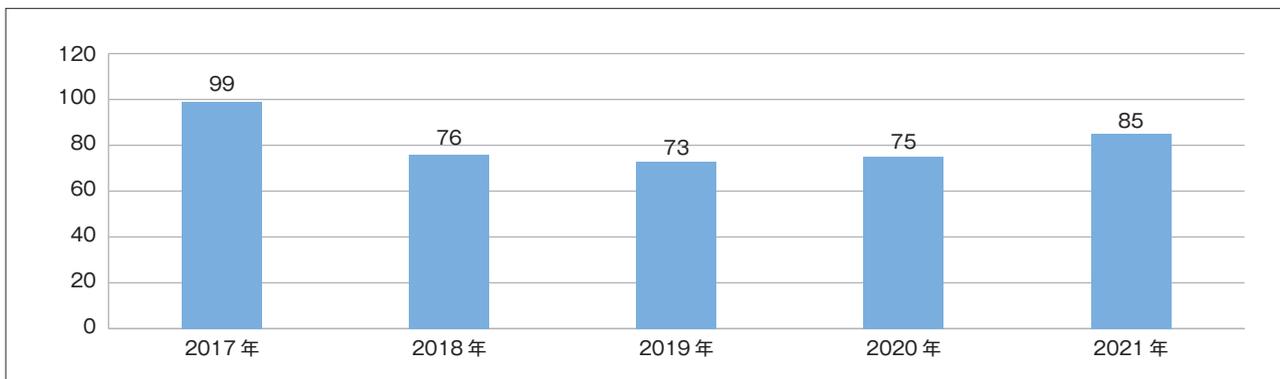


④ 治療件数 (重複含む)

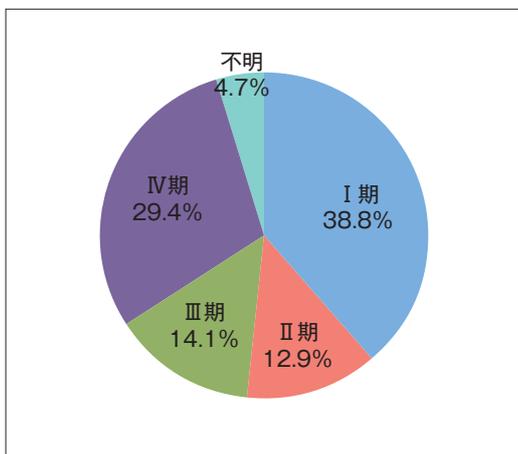


肺がん治療

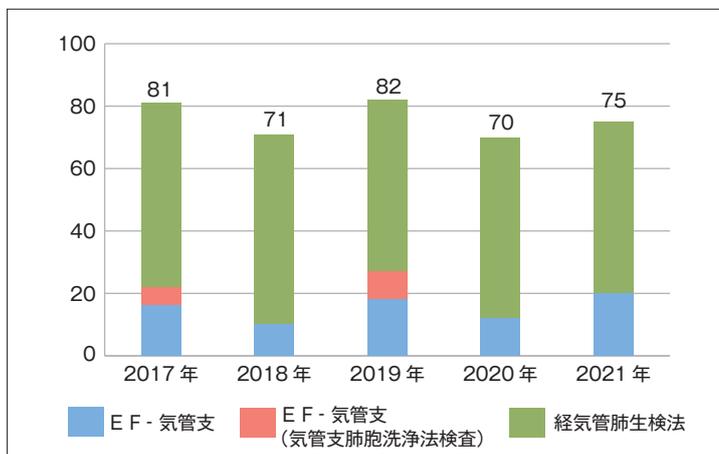
① 初回診断・治療件数



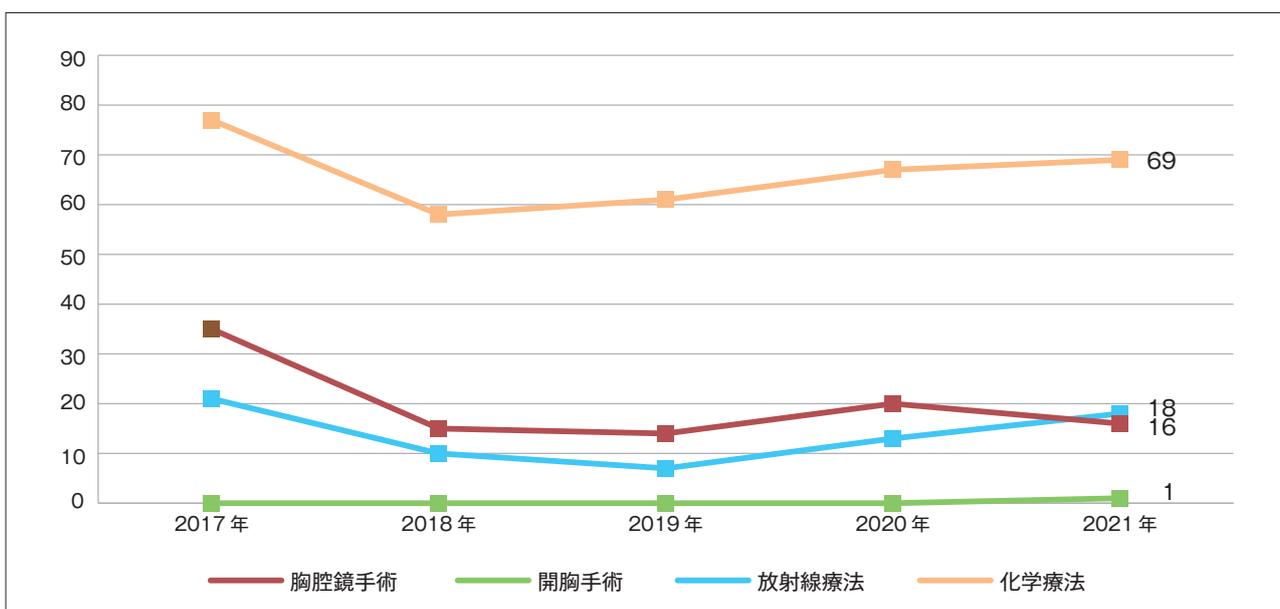
② 2021年症例治療前ステージ別割合



③ 気管支鏡検査・肺生検件数

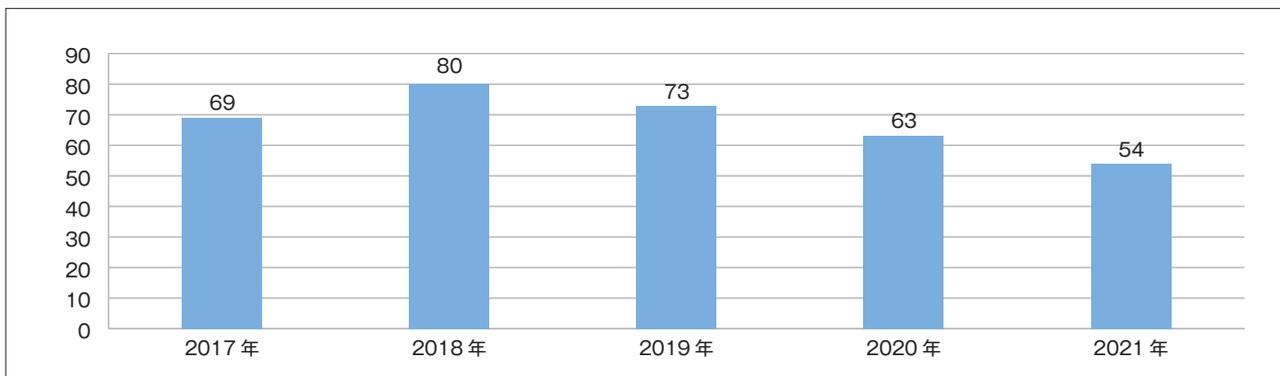


④ 治療件数 (重複含む)

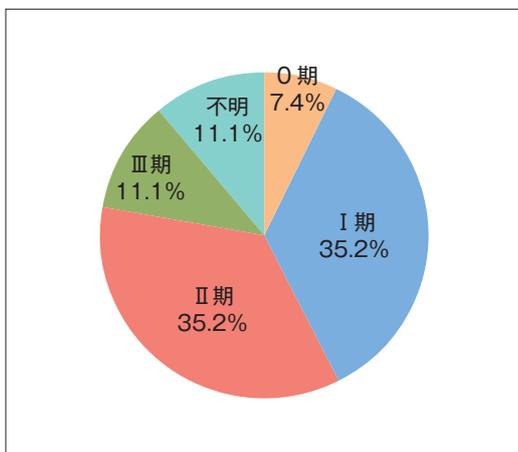


乳がん治療

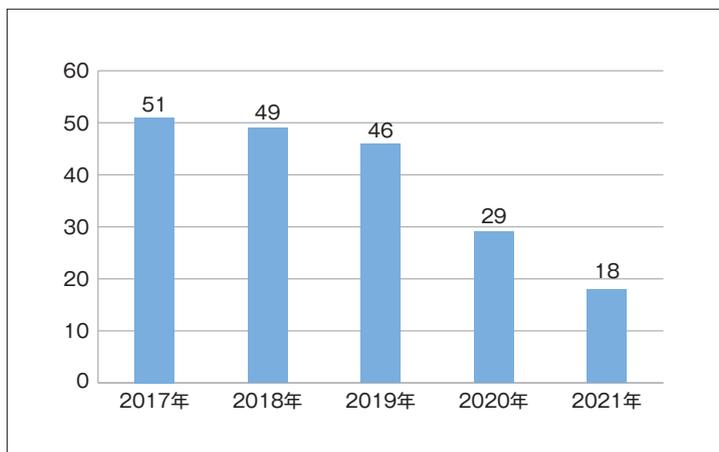
① 初回診断・治療件数



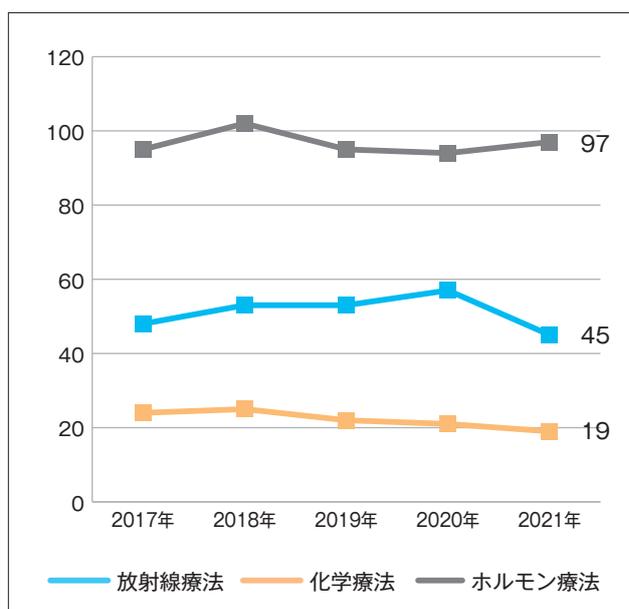
② 2021年症例治療前ステージ別割合



③ 乳腺穿刺又は針生検件数

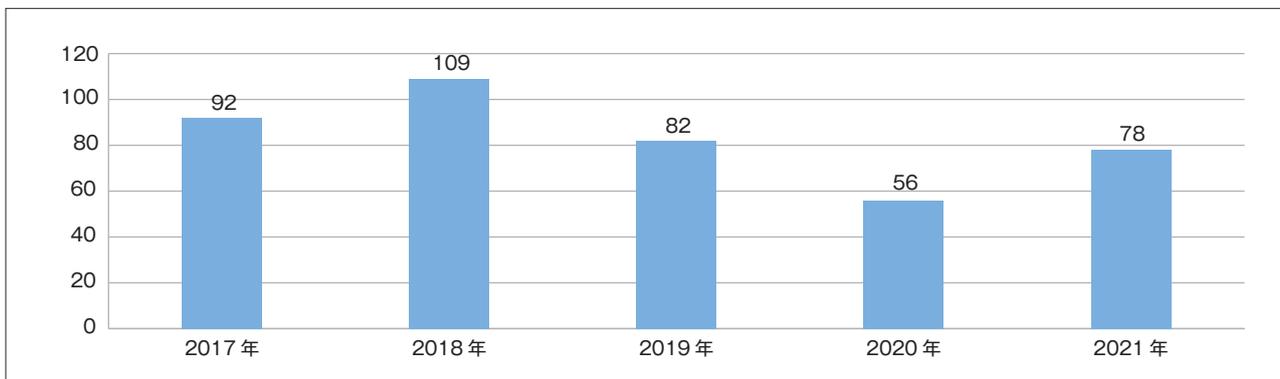


④ 治療件数（重複含む）

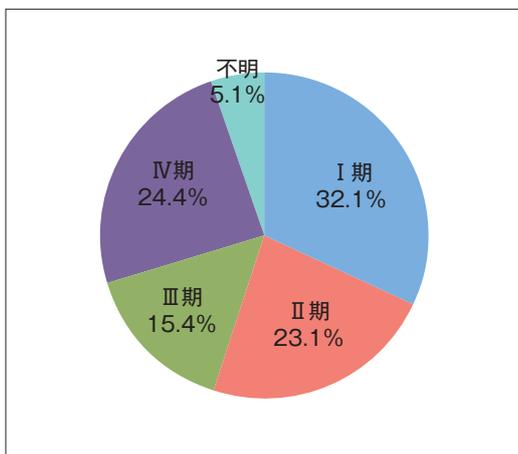


前立腺がん治療

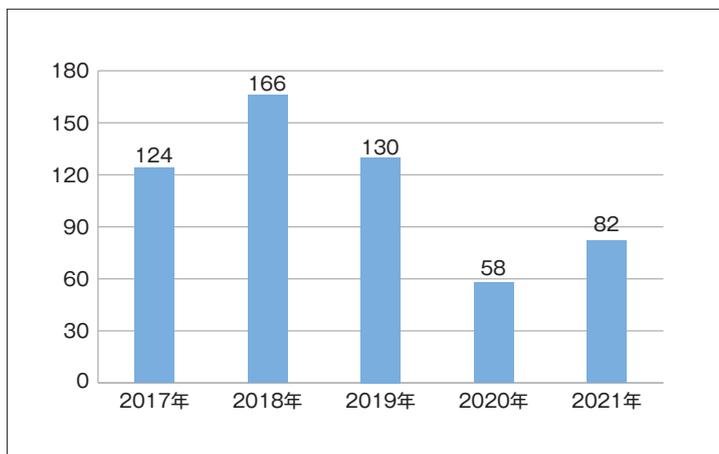
① 初回診断・治療件数



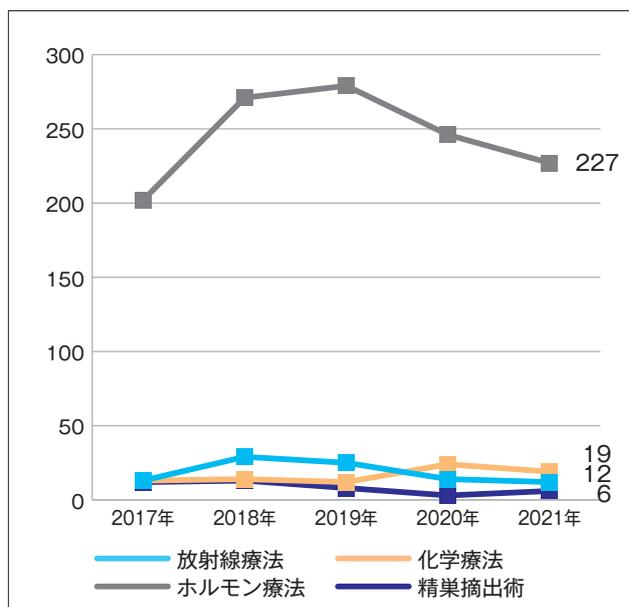
② 2021年症例治療前ステージ別割合



③ 前立腺生検件数



④ 治療件数（重複含む）



2

院内がん登録 2021 年症例報告



【登録・集計対象について】

当院は、2011年10月より大分県がん診療連携協力病院の指定を受け、2011年症例から院内がん登録を実施しています。院内がん登録の情報は、2016年より開始された「がん登録等の推進に関する法律」に基づいた全国がん登録にも利用されています。

院内がん登録では、がんの診断内容、治療内容、予後に関する情報を登録しています。院内がん登録の適切な登録により、当院における受療状況、治療内容、予後情報などのがん診療を把握することができ、がん診療の質の向上に役立っています。

登録・集計対象は、当院でがんの診断・治療を受けた全ての患者さんを入院・外来問わず対象としています。そのため、積極的な治療を受けなかった患者さんやがんの診断のみで他院紹介となった患者さん、他院で治療後に受診した患者さんも登録対象に含まれています。

2021年症例の登録件数は575件となっています。

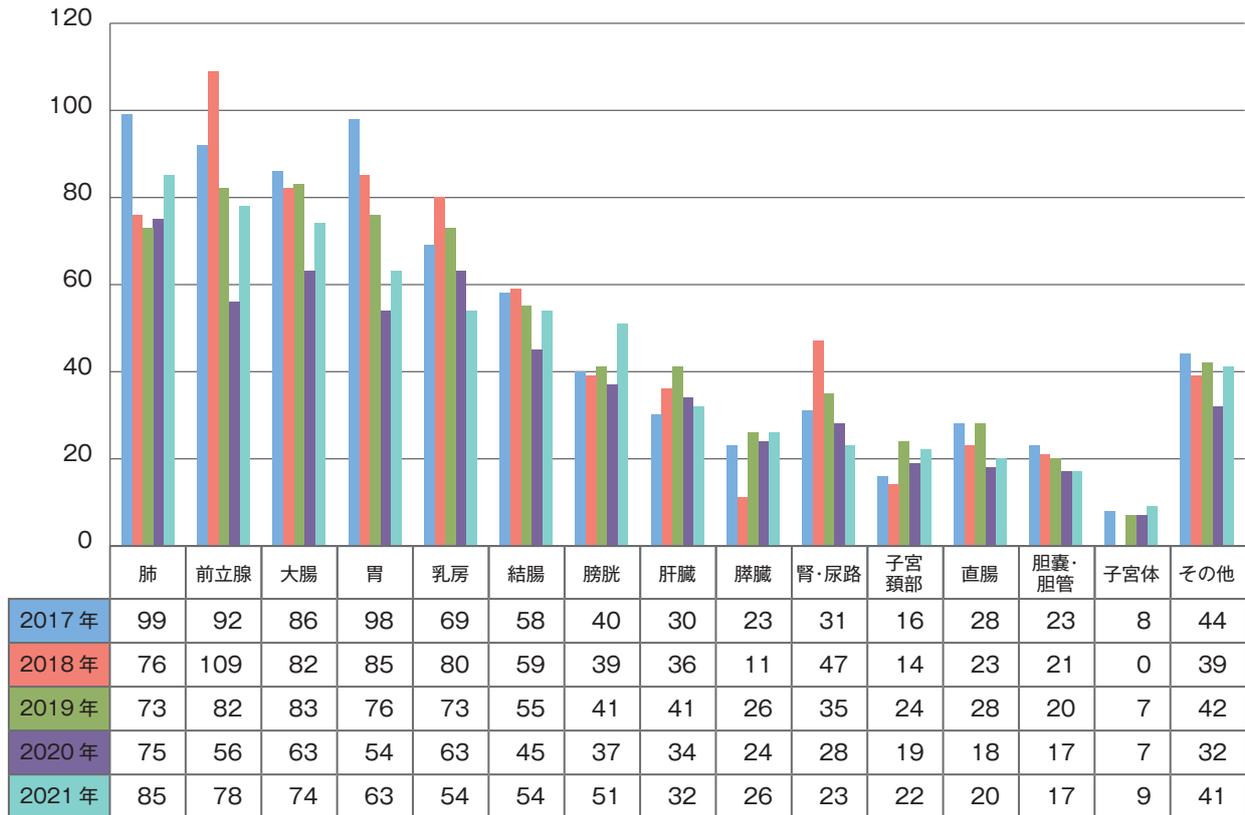
2020年以降新型コロナウイルスの影響で、紹介や救急、入院患者の制限をしたこともあり、2020年以前と比較すると登録件数をはじめ、手術・検査件数が減少しています。

部位別件数では、肺や前立腺、膀胱の件数が増えていますが、これは2021年4月から呼吸器内科と泌尿器科で医師1名の増員があったことも一因と考えられます。

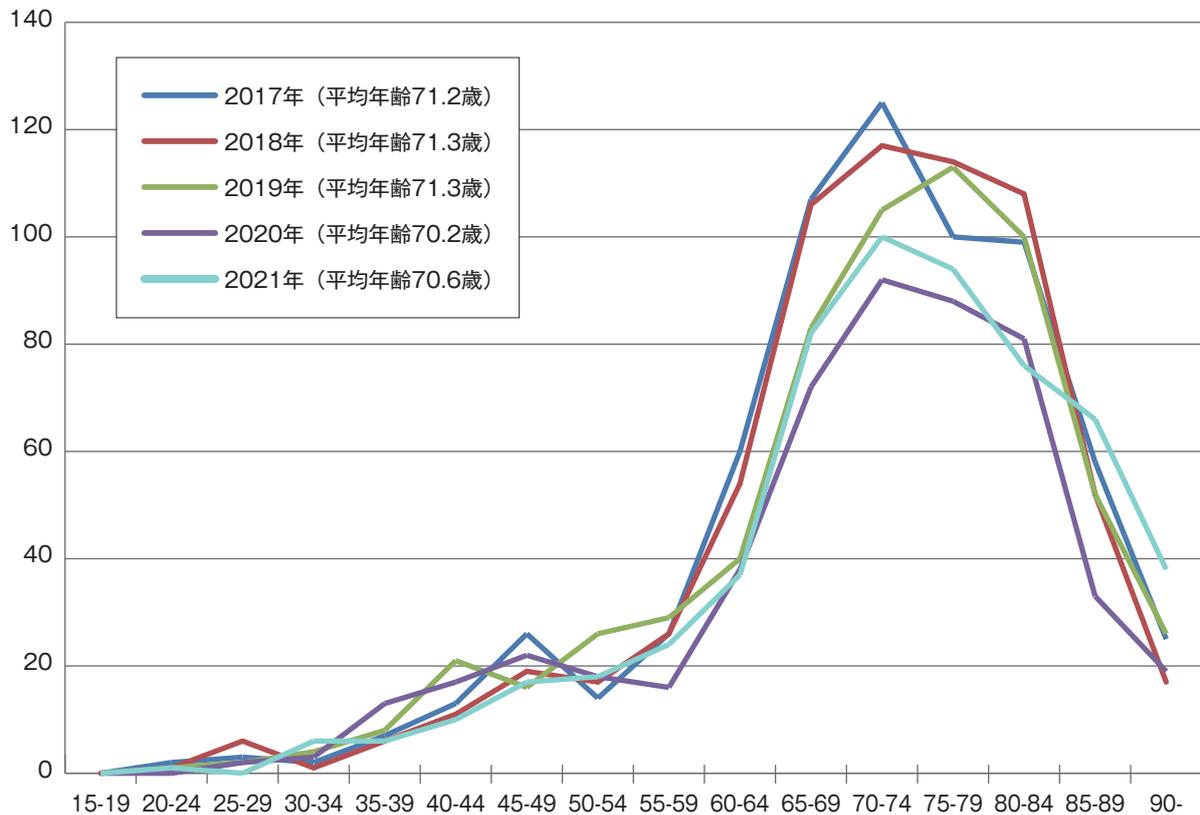
① 院内がん登録 登録件数



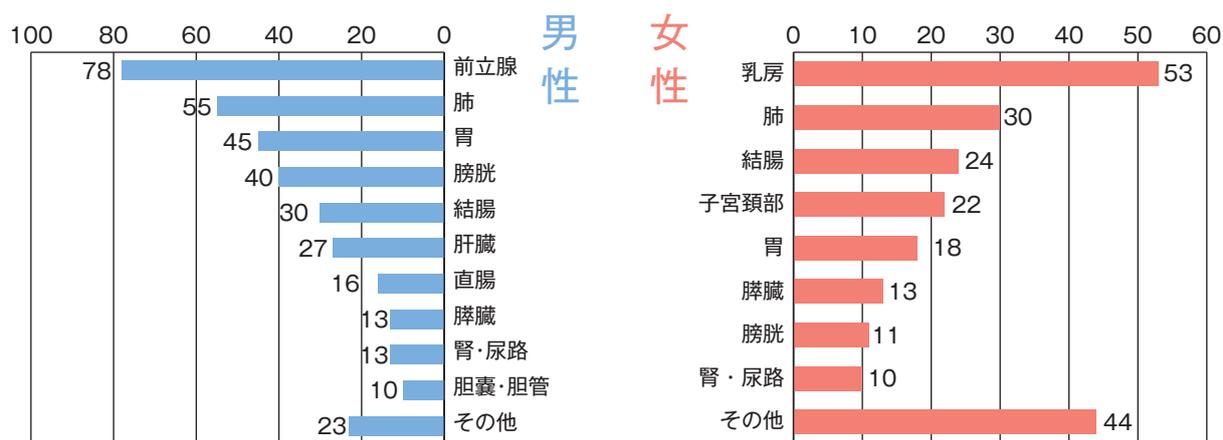
② 部位別件数



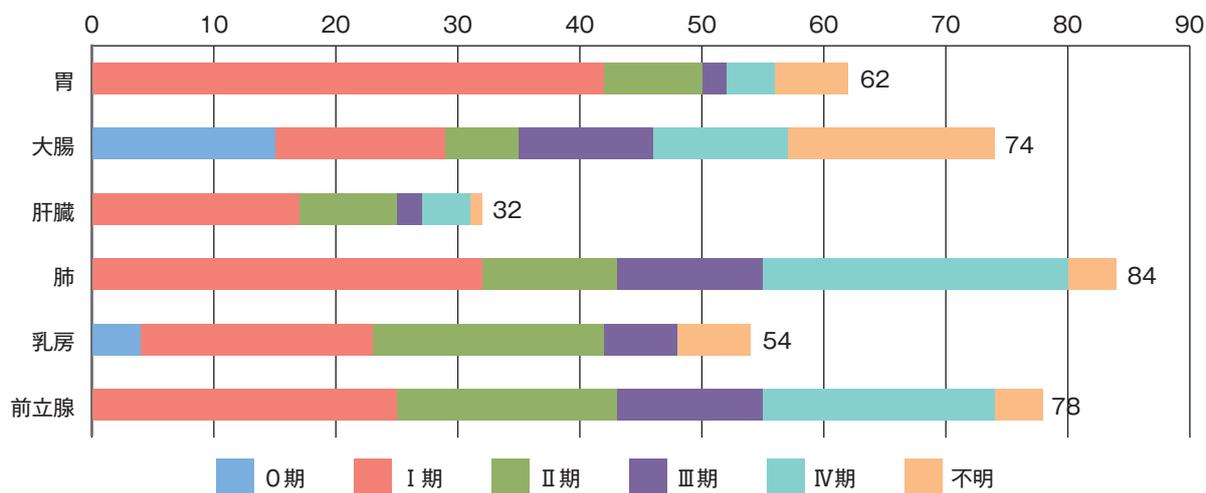
③ 年齢階層別件数



④ 性別別件数



⑤ 主要5部位 + 前立腺 治療前ステージ別件数



3

部門別活動報告



① 放射線治療部門

放射線治療（外照射）

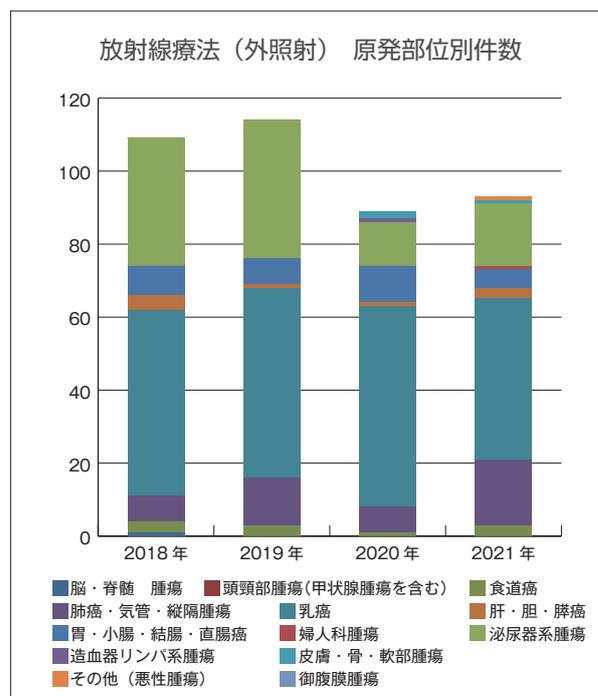
放射線治療はがん治療の三本柱（手術療法、化学（薬物）療法、放射線療法）のひとつです。放射線を直接がん細胞に照射することで、がん細胞を死滅させます。放射線治療の多くは手術療法・薬物療法などと併用されます。手術前に照射することでがん細胞を小さくし、切除範囲を縮小します。手術の前と後に、がん細胞の再発を防ぐために照射することもあります。抗がん剤にがん細胞が耐性を持ち始め薬の効果が落ちてきた時にも、放射線照射が追加されたりします。他にも、鎮痛剤の効きの悪い骨に転移したがん細胞の鎮痛や、神経を圧迫しているがん細胞を縮小させ、痛みや麻痺を軽減するのに用います。放射線治療は、手術と違い体にメスを入れませんので、がんの種類によっては、照射部位（臓器）の形態や機能の温存を目的として、放射線治療が単独で選択されます。

治療の流れとしては、主治医から依頼された患者さんの放射線治療への適応を判断し、十分な説明の上、治療計画用に撮影したCT画像をもとに放射線の照射範囲・回数・放射線の強さなどを決め、治療計画を立てます。治療は通常、平日毎日行います。治療期間中は放射線治療医も、副作用や体調の変化に応じて、適時診察を行わせていただいています。

体力・病態によっては、外来通院でも放射線治療は可能です。放射線治療を受けられている患者さんの半数ほどが外来通院での治療をされておられます。

内照射療法（RI内用療法）

多発するがん細胞の骨転移に対して、鎮痛・増大抑制を目的として内用療法を行います。治療効果のある放射性同位元素（ラジオアイソトープ：RI）を注射で体内に投与すると、血流と共に全身に広がり、骨病変に定着し放射線を放出します。鎮痛剤が効きにくい骨転移の痛みや、多発するため外照射療法を選択できない場合に大変効果があります。当院ではゾーフィゴ（ラジウム-223）による内照射療法を行っております。軽度の骨髄抑制が出現することもありますので、定期的な診察をさせていただきます。



治療装置

高エネルギー放射線治療装置（リニアック）

当院では全身・各部位の外照射治療を行っています。テーブルの上で最低15分程度動かずにいられる人であれば、外照射治療を受けることが可能です。高エネルギーのX線や電子線を病変部に当てる治療で、痛みもなく、体力の消耗も少なく、外来通院でもできる優しい治療です。

当院ではVarian社の放射線治療装置を有しています。治療台の上でCT画像を撮影できるので、腫瘍や正常組織を確認し、ミリ単位での正確な放射線治療が実施できます。



血管造影 CT 複合型装置（IVR-CT 装置）

近年、低侵襲治療（体を傷つけることの少ない血管内治療：IVR）が発達してきました。血管をたどってカテーテルを病変部まで挿入し、血液を遮断したり、抗がん剤を投与したりする治療を行います。カテーテルを挿入するため5mmほど皮膚を切開するだけの少ない侵襲で、治療を行うことができます。当院の装置は血管造影装置にCT装置を併せ持っており、病変に、薬が正確に投与されたかどうかを評価しながら治療を行います。また、体の外から小さな針で病気のサンプルを抽出する「生検」や感染巣から膿を排出する「ドレナージ」の際には、重要臓器を損傷しないように、CT画像と超音波画像を同期させリアルタイムに参照しながら、処置・治療を行うこともできます。



乳がん画像診断

乳房撮影装置

生活の欧米化に伴い、日本でも、乳がんの罹患率が上昇してきました。乳房撮影装置は乳房の撮影に特化したX線撮影装置です。マンモグラフィーとも呼ばれます。2021年5月に、乳房撮影の新しい技術であるトモシンセシスが可能な装置を導入しました。乳腺の重なりで見えなかった病変も、高精細な画像として描出されます。

当院では、撮影に女性放射線技師2名を配し、乳房撮影を行っています。



乳房用自動超音波画像診断装置（ABUS）

乳房専用の3D超音波診断装置です。検査は乳房の上に検出器を載せるだけの簡単な検査です。結果は動画として収集され、専門の医師ほか複数人で読影を行っています。マンモグラフィーではわからない、高密度乳腺の中に潜む病変を見つけ出すことができます。当院では、撮影に放射線技師と臨床検査技師の2名以上の女性技師を配し、ABUSを行っています。



精密超音波装置

ABUS以外にも、もちろん通常の超音波検査も行っております。放射線科では他科から依頼で、乳房のみならず、頭頸部・腹部・動脈・静脈などの精密超音波検査を、放射線科医が実施しています。

※放射線治療や検査をご希望の場合は、かかりつけの医師に相談されるか、
当院の総合支援センター（地域医療連携部門）あるいは放射線科へご連絡ください。

② 化学療法センター

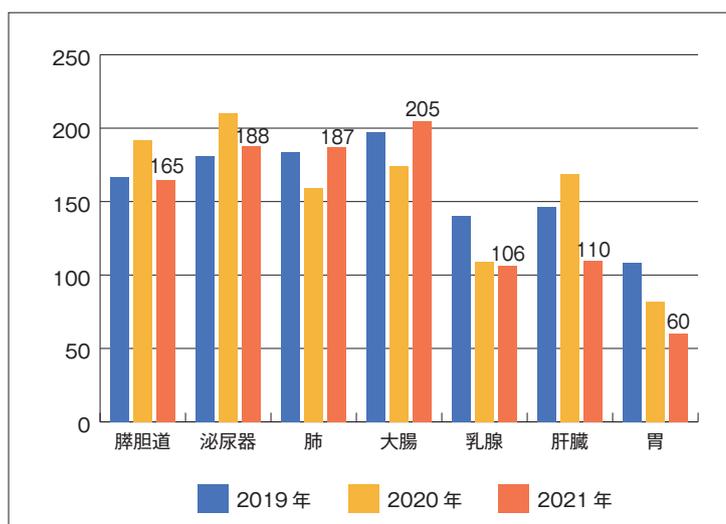
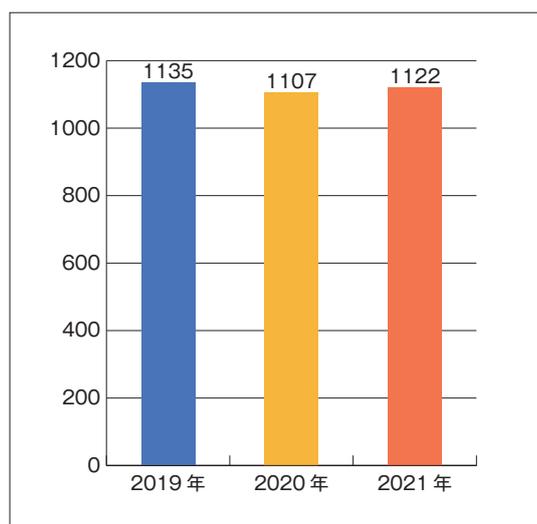
化学療法センターは、通院をしながらがん薬物治療をおこなう患者さんが対象です。

近年、がん治療の進歩は目覚ましく、画期的な治療法や新しい薬剤も次々と登場し治療の選択肢が増加しています。今年、看護師を対象に、がん薬物療法薬投与時の末梢静脈への留置針の穿刺及び皮下埋め込み型中心静脈アクセスポートへのヒューバー針を用いた穿刺が可能となるための研修を実施しました。また、新型コロナウイルス感染症が流行する中で、感染対策の徹底を行い、患者さんが安心して治療が継続できるような環境作りに努めました。

1) スタッフ

化学療法センター長	矢田 一宏
がん化学療法看護認定看護師	高橋 知子
化学療法センター専従看護師	宇都宮 亜友美
化学療法センター看護師	首藤 美穂、河野菜津美
外来がん治療認定薬剤師	青木 孝喜

2) 外来化学療法件数 (2019年~2021年) 3) がん種別件数 (2019年1月~2021年12月)



4) 前立腺癌・乳癌に対するホルモン治療（注射）実施件数

薬剤一般名	2021年
リュープロレリン酢酸塩	648件
デガレリクス酢酸塩	315件
ゴセレリン酢酸塩	76件

5) 転移性骨腫瘍に対する薬物治療実施件数

薬剤一般名	2021年
デノスマブ	261件
ゾレドロン酸	14件



③ がん化学療法薬剤部

抗がん剤はほぼ全例薬剤部で安全キャビネットを用いて無菌調製を行い、薬の種類によっては閉鎖式システムを使用しています。医師の処方したレジメンは薬剤師が用量、休薬期間、当日の検査値や体重等をダブルチェックしています。また抗がん剤調製支援システムを導入しており、調製手順の解析、薬剤量の換算も自動で行われています。



● 外来 化学療法調製件数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2019	96	89	86	109	97	87	83	84	90	118	101	95	1,135
2020	114	102	83	114	93	81	79	88	90	85	88	90	1,107
2021	116	93	99	84	79	99	100	108	81	83	90	90	1,122

● 入院 化学療法調製件数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2019	52	44	55	50	63	40	87	51	61	71	66	54	694
2020	89	58	55	21	42	28	37	49	64	37	34	51	514
2021	4	24	33	22	51	63	60	28	34	45	53	38	455

また、外来患者さんを対象に外来がん治療認定薬剤師が文書を用いた説明（薬の特徴、投薬スケジュール、副作用の種類と対応など）を実施し、必要に応じて処方提案を行っています。

2020年度より診療報酬改訂に伴い連携充実加算への取り組みを開始しています。FAX等による相談体制を整え、2021年度も10月に地域の保険薬局を対象とした勉強会を開催しました。審査されたのち登録されたレジメンを、ホームページ上で公開しており誰でも参照することが可能です。患者さんにはレジメンの実施状況や投与量、CTCAEを用いて評価した副作用の発現状況を文書とし、可能な限り交付しています。

● 2021年レジメン別のべ施行人数（上位）

レジメン名	臓器	人数
肝動注(CDDP+5-FU)	肝臓	16
DOC+PSL	前立腺	13
mFOLFOX6	大腸癌	10
GEM	膵/胆道	10
nabPTX+GEM	膵	9
ベムプロリズマブ	尿路上皮	7
nal-IRI+5-FU/LV	膵	7
CBDCA+VP-16+アテゾリズマブ	肺	7
ニボルマブ	腎	6
CBDCA+VP-16	肺	6

④ 緩和ケアチーム活動

1) 緩和ケアチームとは

緩和ケアチームは、病気に伴う心と体の痛みを和らげ、希望する生活が送れることを支援するチームです。患者さん・ご家族が抱える問題は様々であるため、チームは多職種で構成されています。

当センターでは、患者さんご家族に対して主に主治医、看護師により緩和ケアは提供されますが、抱えている問題によって緩和ケアチームが協働し問題解決に努め、希望する生活が送れるよう支援する体制を整えています。チーム構成は以下の通りです。

【当センターの緩和ケアチーム構成】

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1. チームリーダー（呼吸器外科） | 8. リンクナース6名 |
| 2. リンクドクター2名（外科、呼吸器内科） | 9. リハビリスタッフ |
| 3. 副看護部長 | 10. 栄養士 |
| 4. 看護師長（緩和ケア認定看護師） | 11. 薬剤師 |
| 5. 副看護部長（がん性疼痛看護認定看護師） | 12. 医療社会事業専門職 |
| 6. チーム専従看護師（緩和ケア認定看護師） | 13. 事務職 |
| 7. がん放射線療法看護認定看護師 | |

2) チームの活動（2021年）

(1) 緩和ケアチームによる病棟回診と症例検討会

患者さん・ご家族に最善の治療・ケアが提供できるよう、週1回評価ツールを用いて、患者さん・ご家族の抱える問題や治療・ケア・社会生活に対する希望などを病棟スタッフと情報共有しています。

その中で、身体と心の安楽及び希望の実現に向けた治療・ケアを検討し、提供できるよう取り組んでいます。



(2) 緩和ケアに関する知識・技術の普及

院内外の医療スタッフの緩和ケアの知識・技術の普及を目的としたセミナーの企画や、緩和ケアが安全・適正に提供されるようマニュアルの整備を行っています。

① セミナーや学習会の実施状況

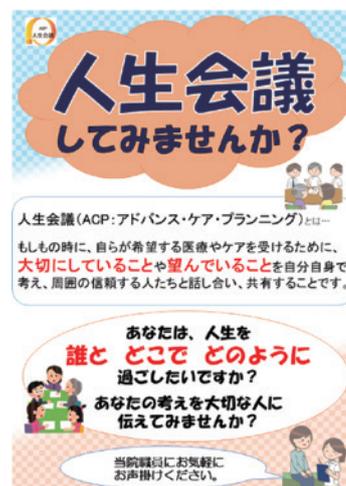
年3回大分東部緩和ケアセミナーを実施しています。2020年・2021年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためすべてのセミナーを延期しましたが、緩和ケアニューズレターを活用し、知識の普及を図っています。

② リンクナースの育成

病棟での役割モデルとなり最善のケアを患者さん・ご家族へ提供できるよう、委員会活動を通して、疼痛管理や倫理など緩和ケアに必要なとされる知識や技術の向上を図っています。

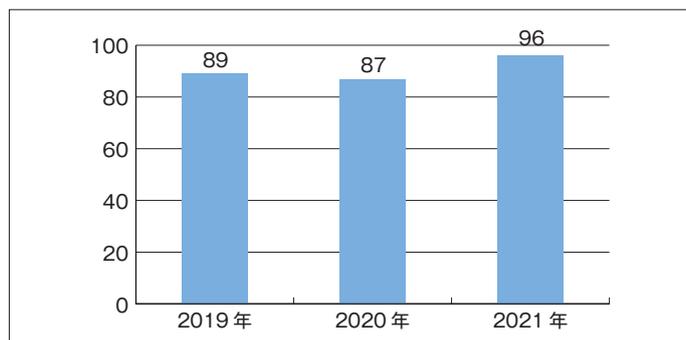
③ 意思決定支援

患者さん・ご家族の意思決定を支えるために、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）を含めた意思決定支援について、病棟スタッフの支援や、患者さん・ご家族に向けたACPの広報活動を行っています。

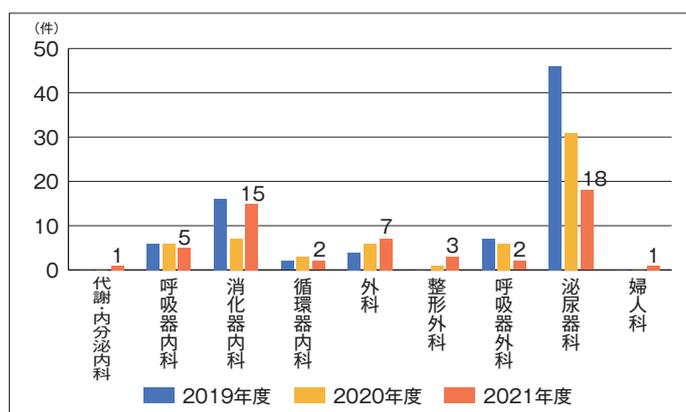


3) 緩和ケアチーム介入状況

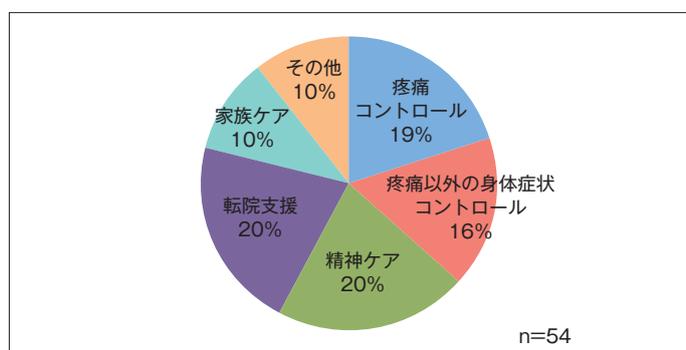
【2019～2021年 緩和ケアチーム介入患者数（再入院患者含む）】



【2019～2021年 診療科別新規介入患者数（総数54件）】



【2021年 緩和ケアチーム依頼理由（重複あり）】

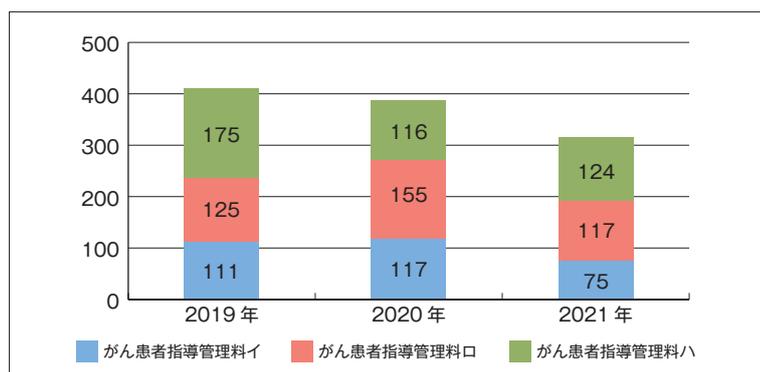


依頼理由	件数
疼痛コントロール	38
疼痛以外の身体症状コントロール	31
精神ケア	48
転院支援	39
家族ケア	20
その他	20

4) がん患者指導管理料

2014年度よりがん患者さんとそのご家族に対する治療・ケアの充実を目的に、がんと診断され継続的な支援を必要とする患者・家族に対して、専門的な知識・技術をもった医療スタッフ^{※1}が迅速に介入し、日常生活を維持する中で治療が継続できるよう支援する体制を整えています。

【がん患者指導管理料加算算定件数推移】



※1 医療スタッフ：
 がん化学療法看護認定看護師
 がん放射線療法看護認定看護師
 がん性疼痛看護認定看護師
 緩和ケア認定看護師
 外来がん治療認定薬剤師

⑤ がん患者リハビリテーション

当院での5大がん（胃・肺・肝臓・大腸・乳房）を中心とした治療に積極的に取り組んでおります。リハビリテーションにおいては周術期リハビリテーション、化学療法、放射線治療中のリハビリテーション、緩和リハビリテーション等、患者さんの治療・要望に合わせたリハビリテーションを展開しています。

周術期リハビリテーション

理学療法（PT）

術前より呼吸訓練や筋力訓練を実施し、術後は早期離床を図ることにより術後合併症の予防に取り組んでいます。

作業療法（OT）

患者さんの状態に合わせたADL訓練を取り入れ在宅復帰に不安がないよう支援していきます。

言語療法（ST）

摂食嚥下訓練が必要な患者さんに対して、多職種と連携しながら支援していきます。

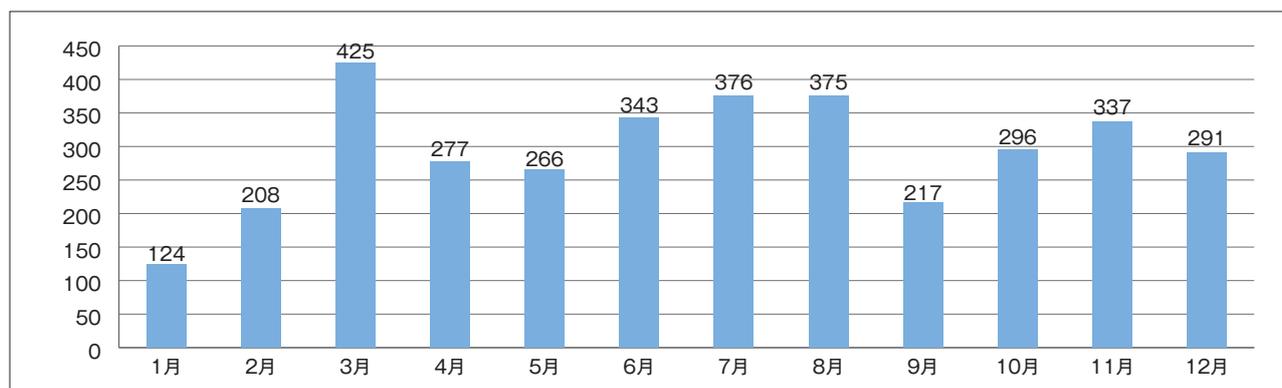
化学療法・放射線治療中のリハビリテーション

抗がん剤や放射線治療中は倦怠感の出現や体力低下等を来します。適切で適度な運動を行うことでこれらの副作用の軽減が期待できます。当院では治療開始早期からリハビリテーションを取り入れADL、QOL維持に努めています。

緩和リハビリテーション

当院の緩和ケアチームと連携し、痛みや呼吸困難等に対して緩和的リハビリテーションを提供しています。

【がん患者リハビリテーション料 PT・OT・ST 延件数】（2021年）



がん患者リハビリテーション研修受講者

職種	氏名
医師	穴井 秀明
医師	椛島 章
医師	梅田 健二
医師	住野 泰弘
看護師	加来 美里
看護師	佐藤 千秋
看護師	神志那 邦子

職種	氏名
理学療法士	渡邊 靖晃
理学療法士	河野 泰之
理学療法士	甲斐 均
理学療法士	今村 健二
理学療法士	原田 愛子
理学療法士	嶋山 裕文

職種	氏名
作業療法士	大黒 陽蔵
作業療法士	貞方 真也
作業療法士	有岡 光太郎
言語聴覚士	安部 遥志

⑥ がん相談支援センター、がんサロン、がん川柳

がん相談支援センター

がん相談支援センターでは、がん専門相談としての研修を受けたスタッフ（看護師、医療ソーシャルワーカー）が、信頼出来る情報に基づいてがん治療の療養生活全般の相談をお受けしております。また、がんサロンの開催やがん川柳の募集、冊子の発行等の活動を通じて、がん患者さんのケアやがん啓発を行っています。

相談業務

早期発見などに関する一般的な情報の提供、セカンドオピニオンについて、がん患者さんの療養上の相談、がん患者支援団体の情報の提供。

その他業務

がんサロンの運営、がん川柳等の啓発活動、大分県がん相談支援センター情報交換会に参加。

がんサロン

がんサロンは、がん患者さんやそのご家族など、同じ立場の人達が集い、気軽に語らう為の交流の場として2ヶ月に1回程度開催しています。医療者とのコミュニケーションや運動療法など、多職種によるミニセミナーや患者・家族との意見交換などを行っています。2021年度は感染症対策のため開催は見合わせとなりました。

がん川柳

がん川柳は、がん患者さんやがん患者さんを支えている家族・知人・支援者が、がんに関わるエピソードや日頃の思いを川柳にのせて、感情表出を行い心のケアを行うことや、がん川柳の思いを地域・社会へ発信し、がん患者さん等の思いを共有することを目的に開催しています。

- 令和2年度に第7回の募集を行い、令和3年度に優秀作品賞の選考、表彰を行いました。令和3年度の募集は見合わせています。
- がんチャリティーイベント（リレー・フォー・ライフ・ジャパン大分）に毎年参加し、当院テント企画として展示、配布していました。2021年は、会場での参加を見合わせ、各自で歩くセルフウォークで参加したため会場での配布は行っておりません。

4

当院で治療を行っているがんの種類



○：対応可 ×：対応不可

		診 療	セカンド オピニオン
頭部・頸部	脳腫瘍	×	×
	脊髄腫瘍	×	×
	目のがん	×	×
	口腔がん・咽頭がん・鼻のがん	×	×
	喉頭がん	×	×
	甲状腺がん	×	×
消化器がん	食道がん	○	○
	胃がん	○	○
	十二指腸がん・小腸がん	○	○
	大腸がん	○	○
	GIST	○	○
肝臓 / 胆道 / 膵臓	肝がん	○	○
	胆管がん・胆のうがん	○	○
	膵がん	○	○
胸部・乳房	肺がん	○	○
	乳がん	○	○
	縦隔腫瘍（胸腺がんなど）	○	○
	中皮腫	○	○
泌尿器	腎がん	○	○
	腎盂がん・尿管がんなど	○	○
	膀胱がん	○	○
	副腎腫瘍	○	○
男性特有のがん	前立腺がん	○	○
	精巣がん	○	○
	その他の男性生殖がん（陰茎がんなど）	○	○
女性特有のがん	子宮頸がん・子宮体がん	○	○
	卵巣がん	○	○
	その他の女性のがん （陰がん・外陰がんなど）	○	○
皮膚 / 骨と軟部腫瘍 / 血液・リンパ	皮膚のがん	×	×
	骨と軟部腫瘍（筋肉や脂肪など）のがん	×	×
	血液・リンパのがん	×	×
その他	後腹膜・腹膜腫瘍	○	○
	性腺外胚細胞腫瘍	×	×
	原発不明がん	×	×
小児	小児脳腫瘍	×	×
	小児の目のがん	×	×
	小児の骨と軟部組織のがん	×	×
	他の小児の固形腫瘍（神経芽腫など）	×	×
	小児の血液・リンパのがん	×	×

※セカンドオピニオンの申し込み窓口は総合支援センター（097-593-1112（直通））になります。
詳しくはホームページをご覧ください。

5

がん関連資格取得者（2021年12月現在）



【診療部門】

▼ 外科

職名	氏名	取得資格・認定
統括診療部長 (消化管)	椛島 章	日本外科学会外科指導医・専門医 日本消化器外科学会消化器外科指導医・専門医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
消化器外科部長 (肝胆膵)	矢田 一宏	日本外科学会外科指導医・専門医・認定医 日本消化器外科学会消化器外科指導医・専門医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本肝胆膵外科学会肝胆膵外科高度技能専門医 日本内視鏡外科学会技術認定医 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡指導医・専門医 日本消化器病学会消化器病指導医・専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本膵臓学会認定指導医
医長	橋本 直隆	日本消化器外科学会消化器外科指導医・専門医 日本外科学会外科専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
医師	一万田 充洋	日本外科学会外科専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本消化器外科学会消化器外科専門医
医師	笠木 勇太	日本外科学会外科専門医

▼ 呼吸器内科

職名	氏名	取得資格・認定
部長	大谷 哲史	日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会認定内科医 日本呼吸器学会呼吸器指導医・専門医 日本アレルギー学会専門医 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医・専門医 日本化学療法学会抗菌化学療法認定医 ICD 制度協議会認定 Infection Control Doctor
医長	山本 堯	ICD 制度協議会認定 Infection Control Doctor 日本内科学会認定内科医 日本結核非結核性抗酸菌症学会結核・抗酸菌症認定医

▼ 消化器内科

職名	氏名	取得資格・認定
名誉院長	室 豊吉	日本内科学会認定指導医 日本内科学会認定内科医 日本肝臓学会認定肝臓専門医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡指導医・専門医
部長	山下 勉	日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医 日本肝臓学会認定肝臓専門医
部長	大塚 雄一郎	日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会認定内科医 日本肝臓学会認定肝臓専門医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡指導医・専門医 日本ヘリコバクター学会 H.pylori (ピロリ菌) 感染症認定医 日本消化管学会胃腸科専門医 日本胆道学会認定指導医・難病指定医
医師	水内 梨絵	日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医 日本肝臓学会認定肝臓専門医 日本内科学会認定内科医
医師	本田 俊一郎	日本消化器病学会消化器病専門医

▼ 呼吸器外科

職名	氏名	取得資格・認定
部長	高祖 英典	呼吸器外科専門医合同委員会呼吸器外科専門医 日本外科学会外科専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医

▼ 泌尿器科

職名	氏名	取得資格・認定
院長	奈須 伸吉	日本泌尿器科学会泌尿器科指導医・専門医 日本泌尿器科学会日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医
部長	住野 泰弘	日本泌尿器科学会泌尿器科指導医・専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本排尿機能学会認定医 日本泌尿器科学会日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医
医長	山中 直行	日本泌尿器科学会泌尿器科専門医
医師	河野 香織	日本泌尿器科学会泌尿器科専門医

▼ 婦人科

職名	氏名	取得資格・認定
部長	岡田 さおり	日本産科婦人科学会産婦人科指導医・専門医 日本女性医学学会女性ヘルスケア専門医 日本乳がん検診精度管理中央機構マンモグラフィ読影認定医 日本産婦人科乳腺医学会乳房疾患認定医 日本性感染症学会認定医
医長	河邊 史子	日本産科婦人科学会産婦人科専門医
医師	梶原 由衣	日本産科婦人科学会産婦人科専門医

▼ 放射線科

職名	氏名	取得資格・認定
副院長 (産業医)	中村 雄介	日本インターベンショナルラジオロジー学会 (IVR) 専門医 日本医学放射線学会放射線科専門医
医長	高橋 浩平	日本医学放射線学会放射線診断専門医

▼ 病理診断科

職名	氏名	取得資格・認定
研究検査部長	森内 昭	日本臨床細胞学会細胞診専門医 日本臨床検査医学会臨床検査専門医 日本臨床検査医学会臨床検査管理医 日本病理学会認定病理医
科長	荒金 茂樹	日本臨床細胞学会細胞診専門医 日本病理学会病理専門医

【コメディカル】

▼ 薬剤部

氏名	取得資格・認定
青木 孝喜	外来がん治療認定薬剤師

▼ 看護部

氏名	取得資格・認定
高橋 知子	がん化学療法看護認定看護師
廣田 紘子	がん性疼痛看護認定看護師
佐藤 晶子	がん放射線療法看護認定看護師
岐部 久恵	皮膚排泄ケア認定看護師
古田 聡美	緩和ケア認定看護師

▼ 医療情報管理室

氏名	取得資格・認定
中川 博之	院内がん登録実務中級認定者

6

がん関連発表



▼ 学会

演者名	演題名	発表学会	発表年月日	場所
是久翔太郎、一万田充洋、梅田 健二、高祖 英典、矢田 一宏、栞島 章、穴井 秀明	集学的治療で切除し得た総腸骨リンパ節転移を伴う直腸癌の一例	第 57 回九州外科学会 (Web 開催)	2021/2/20	福岡市
Kazuhiro Yada, Tohru Utsunomiya	PPoma with lymph node metastases arising in the duodenum:report of a case	第 32 回 日本肝胆膵外科学会 学術集会 (東京 Web 開催)	2021/2/23 ~ 24	新宿区
Akira Kabashima, Shotaro Korehisa, Michihiro Ichimanda, Kenji Umeda, Hidenori Koso, Kazuhiro Yada, Hideaki Anai	Five-year recurrence-free survival case of CY1 gastric cancer:two cases reports	第 93 回 日本胃癌学会総会 (大阪 Web 開催)	2021/3/3 ~ 5	大阪市 (Web)
下村 真代	新型コロナウイルス感染症流行期におけるがん治療での薬剤師の役割 ～がん患者のために薬剤師は何ができたのか～ COVID-19 の院内感染時にがん治療をどうしたか	臨床腫瘍薬学会 学術大会	2021/3/9 ~ 14	Web
梅田 健二、高祖 英典、矢田 一宏、是久翔太郎、一万田充洋、栞島 章、穴井 秀明	複数回の開腹歴患者の横隔膜下転移性肝腫瘍に対して胸腔鏡下肝部分切除の 1 例	第 33 回 日本内視鏡外科学会総会 (横浜 Web 開催) (デジタルポスター)	2021/3/10 ~ 13	横浜市
是久翔太郎、渡邊 公紀、梅田 健二、高祖 英典、矢田 一宏、栞島 章、穴井 秀明	術前化学療法 / 術後化学放射線療法後の直腸癌に対する腹腔鏡下手術の初期治療成績	第 33 回 日本内視鏡外科学会総会 (横浜 Web 開催) (デジタルポスター)	2021/3/10 ~ 13	横浜市
栞島 章	デジタルポスター 3 胃：治療成績	第 33 回 日本内視鏡外科学会総会 (横浜 Web 開催)	2021/3/10 ~ 13	横浜市
矢田 一宏	一般演題 66 膵：その他	第 33 回 日本内視鏡外科学会総会 (横浜 Web 開催)	2021/3/10 ~ 13	横浜市
橋 雄治	Examination of the relationship between the certainty of hepatocellular carcinoma in CT and the contrast effect of angiography	第 77 回 日本放射線技術学会総会 学術大会	2021/4/15	横浜市
河野 香織、山中 直行、住野 泰弘、奈須 伸吉、中島 駿佑 (大分大学)	悪性ライディッヒ細胞腫の 1 例	日本泌尿器科学会 第 78 回大分分地方会	2021/6/26	大分市
貞方 真也	早期の多職種連携導入が円滑な自宅退院につながった一例 ～ステム周囲骨折を呈した担癌患者の ADL 指導を実践して～	第 75 回 国立病院総合医学会	2021/10/23	仙台市 (Web)
河野 香織、山中 直行、住野 泰弘、奈須 伸吉、高橋 剛 (新別府病院)	皮膚転移を起こした尿路上皮癌の一例	日本泌尿器科学会 第 79 回大分分地方会	2021/12/18	大分市

山中 直行、河野 香織、 住野 泰弘、奈須 伸吉、 荒金 茂樹(同 病理診断科)、 森内 昭(同 病理診断科)、 織部 智哉(織部泌尿器科)	急性腎後性腎不全をきたした前立腺導 管癌の一例	日本泌尿器科学会 第 79 回大分地方会	2021/12/18	大分市
山下 勉	当院における経皮的肝生検症例の検討	令和 3 年度国立病院機構 共同臨床研究班会議	2021/12/24	大分市

▼ 講演・研究会

演者名	演題名	発表学会	発表年月日	場所
牧瀬 智	初発時に脱分化型を呈した後腹膜脂 肪肉腫の 1 例	第 192 回 日本医学放射線学会 九州地方会	2021/2/7	大分市 (Web)
下村 真代	てんかん既往を有する去勢抵抗性前 立腺癌の治療選択に関わった一例	大分県病院薬剤師会 第 22 回症例検討会	2021/3/9	大分市 (Web)
洪田 祥平、矢田 一宏、 笠木 勇太、一万田充洋、 橋本 直隆、高祖 英典、 椛島 章	急速に増大を認めた悪性後腹膜腫瘍 の 1 例	大分県外科医会 第 242 回例会	2021/6/12	大分市
住野 泰弘	前立腺癌に於けるクリニカルクエス ション	Next Generation Seminar 2021 in 大分	2021/7/1	大分市
山中 直行	Elderly mCSPC 患者への薬物治療 について CAB が適した症例像	Next Generation Seminar 2021 in 大分	2021/7/1	大分市
大塚雄一郎	睪癌の早期発見を目指して	大分医療センター医師会 合同勉強会	2021/9/16	大分市
清家 直樹	悪性中脾腫の一例	国臨協九州病理細胞診研 究班 web スラカン	2021/9/16	Web
山下 勉	肝癌（肝細胞癌）について	大分県肝炎医療コーデ ィネーター養成研修会	2021/10/3	大分市
高橋 浩平	神経内分泌腫瘍に対するソマトスタ チン受容体シンチグラフィについて	大分東臨床懇話会・救急 症例検証会	2021/10/26	大分市

▼ 論文

著者	論文名	誌名	巻(号)頁	発行日
Eiji Oki, Akitaka Makiyama, Yuji Miyamoto, Masahiko Kotaka, Hirofumi Kawanaka, Keisuke Miwa, Akira Kabashima, Tomohiro Noguchi, Kotaro Yuge, Tomomi Kashiwada, Koji Ando, Mototsugu Shimokawa, Hiroshi Saeki, Yoshito Akagi, Hideo Baba, Yoshihiko Maehara, Masaki Mori	Trifluridine/tipiracil plus bevacizumab as a first-line treatment for elderly patients with metastatic colorectal cancer(KSCC1602): A multicenter phase II trial	Cancer Medicine	454-461	2021/10
Masahito Nakano, Tsutomu Yamashita	Trends in hepatocellular carcinoma incident cases in japan between 1996and2019	Scientific Reports	12(1):1,517	2022/1

独立行政法人 国立病院機構
大分医療センター

がん年報 2021年

発行日：2022年5月

大分医療センター

〒870-0263 大分県大分市横田2丁目11番45号
(代表番号)TEL 097-593-1111 FAX 097-593-3106
(総合支援センター)TEL 097-593-1112 FAX 097-528-9651
ホームページ <https://oita.hosp.go.jp/>

Cancer Annual Report 2021 Oita Medical Center

独立行政法人 国立病院機構
大分医療センター

〒870-0263 大分県大分市横田2丁目11番45号
(代表番号) TEL 097-593-1111 FAX 097-593-3106
(総合支援センター) TEL 097-593-1112 FAX 097-528-9651
ホームページ <https://oita.hosp.go.jp/>